

研究課題名:「過敏性肺炎における神経ペプチドならびにその受容体の局在に関する病理組織学的研究」

(1) 研究の目的

喘息や過敏性肺臓炎における神経ペプチド(サブスタンスPやニューロキニンA等)とそれらの受容体(NK1およびNK2R等)の制御に関わるタンパク発現変化の特性を明らかにし、そのプロフィールと病理学的特徴や予後との関連から、呼吸器疾患の発症機序、重篤化に関わる要因を明かにすることを目的とします。本研究によって呼吸器疾患の病態に寄与する神経ペプチド関連物質を顕微鏡レベル、タンパク質レベルで適切に把握することで、より効果的な疾患治療法の確立を目指します。

(2) 研究の対象と方法

臨床・病理学的に過敏性肺炎と診断された1997年から2009年までの7例の肺組織パラフィンブロックから匿名化した状態で当院にて各10枚薄切したパラフィン切片を、染色実施機関である北海道大学大学院医学研究科腫瘍病理学分野に送付します。北海道大学当該分野において病変部位の神経ペプチド、その受容体発現を免疫組織学的に検索いたします。当院症例に関しては免疫組織学的研究のみで、遺伝子解析は行われません。また、今後あらたに検体を提供することはありません。

(3) 研究終了後の試料・データの取り扱い

解析に用いたスライド切片や余った未染色スライド切片は研究終了後、オートクレーブ等の適切な処置をしてから廃棄します。また同時に、試料と別個に保存されていた匿名化対応表も廃棄処分とします。

(4) 個人情報の保護について

組織の採取・保管にあたっては、患者さんのIDや病理番号とは別の研究用の通し番号を使用し個人情報とは完全に分離した形で扱っておりますので、本研究によって患者さんの個人情報が漏れる心配は全くありません。また、国内外に研究の成果を論文・学会等で発表する場合も、個人の特定はできないようになっております。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は、学会発表および学術論文として公表される予定です。

(6) 問い合わせ等の連絡先:

日本赤十字社医療センター 病理部 常勤嘱託医師 武村民子
〒150-8935 東京都渋谷区広尾 4-1-22
電話: 03-3400-1311 (平日 8:30~17:30)